

◎プロフィール

名前：光成 沙也加 (MITSUNARI Sayaka)
隊次：2021年度4次隊 (2022/4~2024/4)
職種：看護師
派遣国：マダガスカル
任地：アンチラベ (首都から南に車で4時間)



◎キャッサバのパウンドケーキ作り

村の保健センターで料理デモンストレーションを実施しました。**キャッサバ**という芋の、葉っぱをすり潰したもの(“ラビトゥトゥ”)を使ったパウンドケーキを作りました。(ちなみにキャッサバは、日本では**タピオカの原料**となる芋です!)ラビトゥトゥのパウンドケーキは先輩隊員が残してくれたレシピで、任地の日本祭りでも販売し、とても反響がありました。マダガスカルでは**ラビトゥトゥを日常的におかずとして**、豚肉などと一緒に煮て食べています。今回は普段おかずとして食べられるラビトゥトゥがおやつになることに驚き、“**キャッサバのパウンドケーキ?!**”とお母さん達からどよめきと笑いが起きました。笑

実際に保健ボランティア(AC)さんにレシピを説明してもらい、目の前で実演してもらいました。お母さんたちは興味津々でACさんが作る様子を見ていろいろと質問していました。そしてお母さんや子どもたちに試食してもらおうと、美味しいと好評でした。マダガスカル人からも評判がよく、しかもキャッサバは栄養価が高いので、おやつを露店販売している人たちに広められるよう考えていきたいです。



ACさんによる実演



◎保健センターでの布ナプキン販売

任地での日本祭りで販売した布ナプキンを村でも普及させられたらと思い、村の保健センター(Toby)でACさんに宣伝・販売してもらっていました。興味を持ってくれるお母さんがたまに買ってくれていましたが、販路拡大のために活動先の基礎保健センター(CSB II)の**妊産婦さんが来院するエリアと家族計画の部屋**に置いてもらうことになりました。そして布ナプキンを作っているACさんが、CSB IIの布ナプキンの在庫を管理する仕組みにできるよう、スタッフの助産師さんとACさんと話し合いをしました。今後2人が上手く連携しながら、継続的に布ナプキンを販売・普及していけるのか!? 見守っていきたいと思います。



宣伝用のポスターを↑掲示してもらいました

◎マダガスカルの結婚式とは!?

マダガスカルで結婚式に参列させてもらいました！マダガスカルの結婚式の時期は**乾季**にあたる**5月～10月**だそうです。そして、それぞれの結婚式では**結婚式のカラー**が決まっています、参列者はカラーに合わせてドレスを着てくる人もいます。また結婚の時期が被ると、兄弟と同じ日に結婚式を挙げることもあります。

結婚前の儀式として、“**ファフィラヌ**”という文化があります。これは、お祈りした神聖な水にお金を浮かべ、新郎新婦は親族からお金で水をかけられ、その後その水を飲む、という不思議な文化です。“**生活が豊かになるように**”との願いが込められているそうです。

その後教会に移動して**挙式**をします。新郎新婦入場、賛美歌を歌う、神父さんの言葉、指輪交換、誓いのキスというのは日本と変わりません。日本との違いは、どの挙式でも途中で**献金**の時間が2回あり、**キリスト教**の国らしさがありました。



兄弟そろって結婚式

“ファフィラヌ”の様子→



教会で指輪交換



教会での挙式



パレード用の車↑

その後車に乗って街中に移動します。移動中は列になった車が**クラクション**を鳴らして、パレードをしながらお祝いします。結婚式の時期は、街中でクラクションの音が鳴り響いています。

～披露宴会場の様子～



その後、車で披露宴の会場である自宅に戻り、披露宴が始まります。そこにはたくさんのテーブルが並べられていて、席に着くと**山盛りのごはんとたくさんのお肉**が運ばれてきます。マダガスカル人は山盛りのごはんとお肉を2～3杯はおかわりして、毎回気持ち良い程完食します！最後に**ケーキ**が配られます。

ごはんを食べた後は、**歌って踊って**新郎新婦をお祝いしました。マダガスカル人、特に中央高地の人は普段は恥ずかしがり屋が多いですが、音楽がかかると急にノリノリになり、音楽やダンスが好きなんだな実感します。

←ファーストバイトがお肉！



DJが来てダンス会場がセットされていることも…！→

